



ディスパッチ メッセージの管理

- [ディスパッチ メッセージについて \(1 ページ\)](#)
- [ディスパッチ メッセージへの応答 \(1 ページ\)](#)

ディスパッチ メッセージについて

ディスパッチ メッセージは、問題に応答可能なユーザの同報リストに送信されます。ディスパッチ メッセージに応答する必要があるユーザは1人だけです。Cisco Unity Connection がディスパッチ メッセージを再生した後、次のオプションがあります。

メッセージを受信	このオプションを選択したユーザは、メッセージを承諾する同報リストの唯一のメンバーであることを意味します。他のすべての受信者がメッセージを聞いたかどうかにかかわらず、メッセージのコピーは他のすべての受信者のメールボックスから削除されます。
メッセージを拒否	このオプションを選択したユーザのメールボックスからはメッセージが削除されますが、まだメッセージを拒否していない他の受信者のメールボックス内ではそのメッセージのコピーが未開封のまま残ります。 (注) 他のすべての受信者がディスパッチメッセージを拒否した場合は、最後の1人のユーザがディスパッチメッセージを受信する必要があります。最後の1人のユーザはメッセージを拒否できません。
メッセージの先送り	このオプションを選択したユーザとまだメッセージを拒否していない他の受信者のメールボックスには、メッセージが未開封のまま残ります。

ディスパッチ メッセージへの応答

ディスパッチ メッセージへの応答に関する考慮事項は次のとおりです。

- 自分がディスパッチメッセージを受け入れる前に、他の受信者がディスパッチメッセージを受け入れると、自分のメールボックスからはメッセージのコピーが削除されます。
- ディスパッチメッセージを拒否した場合、そのディスパッチメッセージは Cisco Unity Connection によって削除済みアイテムフォルダに移動されません。
- ディスパッチメッセージが届くと、電話のメッセージ受信インジケータが点灯する場合があります。他の受信者がディスパッチメッセージを受け入れた場合、Connection によって自分のメールボックスからメッセージが削除された後に、インジケータが消灯します。メッセージが削除されてからインジケータが消灯するまでの間には時間差が発生する場合があります。インジケータに気付いた後に新しいメッセージが見つからない場合は、この時間差の間にチェックしたことが原因である可能性があります。
- ディスパッチメッセージを含めるようにメッセージ通知規則を設定している場合、通知を受け取り、メッセージを取得するためにコールするまでには、別のユーザがすでにメッセージを受け入れているために、このメッセージがユーザのメールボックスから削除されている可能性があることに注意してください。

関連トピック

[ディスパッチメッセージについて](#) (1 ページ)

電話のキーパッドを使用したディスパッチメッセージの管理

ディスパッチメッセージを再生した後、指示に従ってメッセージを受け入れるか、拒否するか、先送りにします。

ボイス コマンドを使用したディスパッチメッセージの管理

ステップ 1 コールをして Connection にログインします。

ステップ 2 Connection で「What do you want to do」と尋ねられたら、次のように発音します。

「ディスパッチメッセージの再生」

ステップ 3 ディスパッチメッセージを再生した後、指示に従い、次のボイスコマンドを使用してメッセージに応答します。

操作	ボイス コマンド
メッセージを受信	「Accept」
メッセージを拒否	「Decline」

操作	ボイス コマンド
メッセージの先送り	「Postpone」

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。